



## 遊びの広場「おひさま」 学生と親子と一緒に楽しく遊びました

5月27日に子育て支援総合センターで、遊びの広場「おひさま」を開催し、12組の親子が参加しました。子どもたちは、最初は緊張した様子でしたが、群馬バース大学福祉専門学校の学生による劇や歌が始まると、体を揺らしたり一緒に歌ったりと楽しそうに参加していました。最後は学生が手作りした遊び場で元気いっぱいに遊びました。



## 高崎商科大学生のフィールドワーク 学生の視点で確認する渋川の現状



6月11日に、高崎商科大学の学生によるフィールドワークが行われました。これは、市と同大学・萩原豪研究室、渋川にぎわいプロジェクトの三者が連携し、まちなか活性化を目指して実施したものでした。この日は、伊香保とまちなかを巡り、若者の視点で渋川の現状を確認しました。

## 東部公民館のレモンケーキ教室 初夏にピッタリのスイーツを作ろう

6月8日に中央公民館で、「初夏のさわやかレモンケーキ教室」を開催しました。5人の参加者は、レモンの爽やかな香りに包まれながら、ケーキ作りに挑戦。参加した女性は、「本のレシピを見て作るより、教室に参加して、見て作った方が覚えやすい」と話していました。

## 渋Pay 1%応援金の活用 「渋Pay文庫」を子どもたちの元へ



市内の各小・中学校に、貸出用図書が「渋Pay文庫」として納品されました。これは、渋Pay決済額の1%が応援金として「将来世代への投資」に活用されたもの。金島小学校には、読書感想文課題図書の12冊が加わり、子どもたちは「本が好き。本が増えてうれしい。」と話していました。



## タッチでチェック！脳活体験会 アタマとカラダを動かして脳を健康に

5月19日に金島ふれあいセンターで、「タッチでチェック！脳活体験会」を行いました。この事業は、頭と体を使った「脳活」を体験するもので、この日の午前は30人が参加。認知症の正しい情報を学ぶ講演会やタブレットを使った脳の健康度測定、頭と体の両方を使ったトレーニングが行われ、参加者は楽しみながら、脳活を体験していました。



## 古巻公民館のニッティングバッグづくり教室 着物の生地がバッグに変身



5月26日と6月2日の2日間、古巻公民館でニッティングバッグづくり教室を開催しました。講師の指導の下、5人の受講生が着物の生地を使って四角いバッグを制作。参加した諸田照子さんは、「なかなか作る機会がなかったので、完成してうれしかった」と話していました。

## 専用米「和みリゾット」の田植え 地元農家と学生が協働して米作り



5月20日に北橘町八崎地内の水田で、高付加価値米「和みリゾット」の田植えが行われました。これは、耕作放棄地の解消などを目指し、関東学園大学と八崎第三地区環境保全協議会が連携して取り組む事業です。参加した学生は「自分で植えた苗は自分で刈りたい」と話していました。

## グリーンカーテン用苗配布・フードドライブ 身近なところから環境対策に取り組む

5月20日に市役所本庁舎駐車場で、温暖化対策のグリーンカーテン作成用苗の配布会を開催しました。会場には多くの人が訪れ、400本用意した苗は、すぐに配布終了。食品ロス対策で同時開催したフードドライブでは、221点の食品が寄せられ、NPO法人いこい「フードバンクしぶかわ」に寄贈しました。





## ドッグショー日本一の犬がやってきた！ なでて走って楽しく触れ合う

6月5日に伊香保の世代間交流館で、昨年の国内のドッグショーで、犬種別のチャンピオンになったゴールデン・レトリバーのUMEと触れ合う催しを行いました。参加した子どもたちは、飼い主の田子さんから犬のしつけや食事についての説明を聞いた後で、UMEをなでたり、一緒に走ったりして、楽しいひとときを過ごしました。



## 第20回渋川市民美術展 目を奪う市民の力作を鑑賞



6月9日から18日までの間、市役所第二庁舎もみじサロンで、市民美術展が行われました。市内の高校生から大人までの80作品を、日本画・洋画・彫刻のジャンル別に分けて展示。景色や模様などがさまざまな色彩で表現され、来場者を楽しませていました。

## 津久田小学校のチョウの観察会 アサギマダラがお出迎え



6月8日に津久田小学校の4年生14人が、旧赤城キャンプ場周辺で、チョウの観察会を行いました。講師の話を聞きながら葉っぱを裏返すと、児童たちはチョウの卵を次々に発見。最後にはアサギマダラを見ることができ、児童たちは歓声を上げていました。

## 渋川公民館の家庭教育支援学級 園児の笑顔あふれるマスつかみ

6月13日に渋川幼稚園で、阪東漁業協同組合の協力の下、「マスつかみ」を開催しました。園児と保護者の約20組が参加し、園児がマスのつかみ取りに挑戦。勢いよく泳ぐ魚に悪戦苦闘するも、つかめたときは歓喜の声を上げていました。参加した園児は、「魚はぬるぬるしていたけど楽しかった」と話していました。

